

# 6月のびぎゅう

明るい社会を目指して

7月3日、社会を明るくする運動キャラバン隊が、役場追分庁舎を訪問。この運動は、犯罪や非行のない安全、安心な地域社会を築くことを目的に行われています。

セレモニーでは、内閣総理大臣メッセージを苦小牧地区保護司会中澤正之会長が代読し伝達。受け取った森下副町長は、「地域住民とともに安心して生活できるように取り組んでいきたい」と述べました。



## 追分カーネーションが慰問活動

歌や踊りでみんなを笑顔にすることを目的に、福祉施設への慰問活動をしている追分カーネーション（代表 米川恵美子）の7名が、7月10日グループホームふるさとおいわけを訪問しました。

カラオケや唱歌、舞踊など14演目を披露。入居者の表情は大変明るく、ともに歌い、踊る様子はイキイキとしていて、ホールには拍手が鳴り響いていました。



## 安平川をきれいに

7月3日、追分小学校4年生による安平川学習が行われました。マチおこし研究所の方に協力いただき、ごみ拾いや生物の生態調査、水質検査などに取り組み、特に水の採取場所によって変わる水質に「不思議」を感じていた様子でした。

次回は安平川源流で、水量実験や水中の生物調査などを行う予定となっています。



## 保育の難しさを体験

7月13日と14日に早来中学校3年生が、はやきた子ども園で保育授業を行いました。

実際に3歳、4歳、5歳児のクラスに分かれ、事前に作成した手作りのおもちやで園児との距離を縮めながら交流。園児のパワーに「疲れました」と保育の難しさを実感したようです。

むじゃきな園児に自身の幼少期を重ね、その成長を振り返る貴重な時間となったことでしょう。



## 個性あふれる作品完成

7月16日、早来小学校の5年生22名が校外学習の一環で陶芸作りを体験。

自分の手で、湯飲みやお皿を作るということもあり、児童たちの表情は真剣そのもの。陶芸の指導を務めた、かしわ焼き同好会の皆さんの協力で、個性溢れる作品が完成しました。

次の作業は、夏休み明けの色つけ。児童からは「早く色を塗りたい」と次の作業を楽しみにする姿が伺えました。

